

谷川保険事務所

創業60周年記念講演会を開催
増田明美氏が「健康づくり」で講演

谷川保険事務所（谷川明義代表取締役）は10月3日、岡山市の山陽新聞社本社ビルさん太ホールで創業60周年記念講演会を開催した。講師には、谷川氏と長年、親交のあるスポーツジャーナリストの増田明美氏を招へい。増田氏は「一步一步の健康づくり」をテーマに自身のマラソンで培ってきた知見を基に講演した。会場には代理店関係者や顧客など約200人が訪れた。

一步一步の積み重ねで前進を（谷川専務）



谷川明義氏



増田氏



谷川明弘氏

谷川保険事務所は昭和40（1965）年12月に創業、今年で60周年を迎えた。現在は2代目の明義氏が社長職を継ぎ、「あすの不安、きょう解決！」をスローガンに、地域密着の代理店として顧客の安心・安全に貢献している。増田明美氏の講演は、谷川保険事務所50周年の時から10年ぶりとなった。

記念講演会の冒頭、谷川氏は参加者に対し長年の支援に感謝の意を表した上で、増田氏との出会いの経緯を語った。谷川氏に

よれば、かつて増田氏の愛読書が小豆島を舞台にした「二十四の瞳」であることを知り、「オリーブマラソン全国大会」への招待を小豆島役場に働



岡山市のさん太ホールで行われた60周年記念講演会

これまでに出場したフルマラソンは約40回に及ぶ。マラソンの魅力について、「健康づくり。参加することに意義がある。老若男女が分け隔てなく同じステージで楽しめるスポーツは他にない」と述べ、今回の講演会のテーマも「共通の関心事である健康づくり」としたことを強調した。講演会に移り、増田氏は谷川保険事務所がリスクを力バ―する伴走者だと評価した上で、健康づくりをテーマに話を進めた。増田氏はこれまでの親の介護の経験や、スポーツを通じた健康づくりへの知見を披露。有酸素運動による筋肉の維持が人生百年時代の中で「貯筋」につながると伝えた

み重ねで必ず前に進めることを実感した」と述べ、地域を守る代理店として70年、80年、さらに百年に向け歩を進めていくことを誓った。